

区民調査の結果がまとまりました

障害者生活実態調査

調査結果は保健予防課(第2分庁舎分館1階)、障害者福祉センター(戸山1-22-2)、障害者生活支援センター(百人町4-4-2)、シャロームみなみ風(弁天町32-6)、視覚障害者・聴覚障害者交流コーナー(高田馬場1-17-20、区社会福祉協議会1階)でも閲覧できます。

第3期障害児福祉計画・第7期障害福祉計画の策定に活用します

区内在住の障害のある方の生活実態・障害福祉サービス等の利用状況・利用意向等についてご意見を伺い、次期計画の策定や今後の施策に役立てることを目的に調査を実施しました。区では、「安心して地域生活が送れるための支援」を障害者計画の基本目標の一つとしており、ここでは「今後希望する生活」についての調査結果を抜粋してお知らせします。

調査は令和4年11月中旬～12月上旬に、区民の方6,483名(事業所の担当者の方を含む)に郵送で実施し、3,326名の方から回答をいただきました。

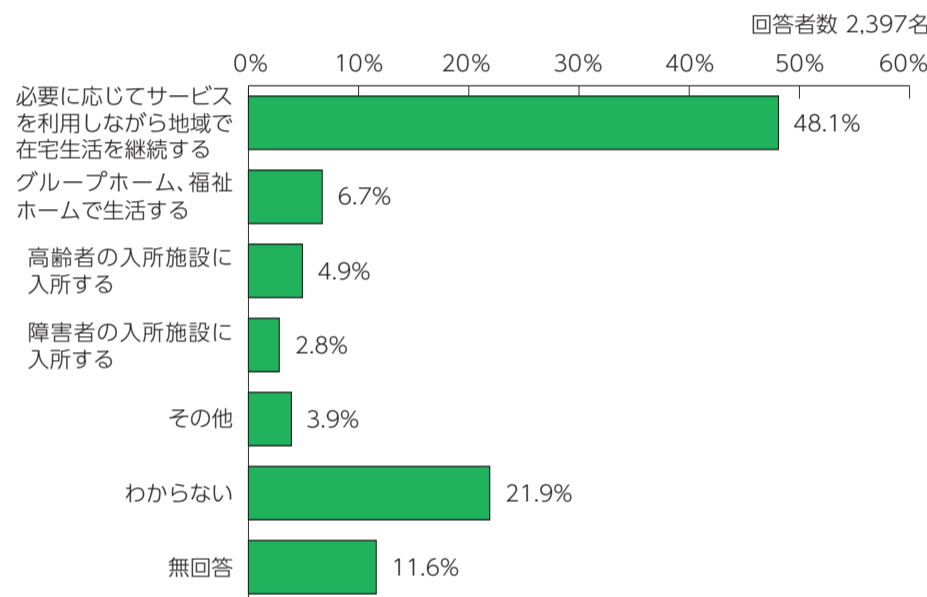
※点字版・音声版の調査報告書(概要版)を希望する方は、お問い合わせください。

問合せ 障害者福祉課福祉推進係(本庁舎2階) ☎(5273)4516・FAX(3209)3441

今後希望する生活

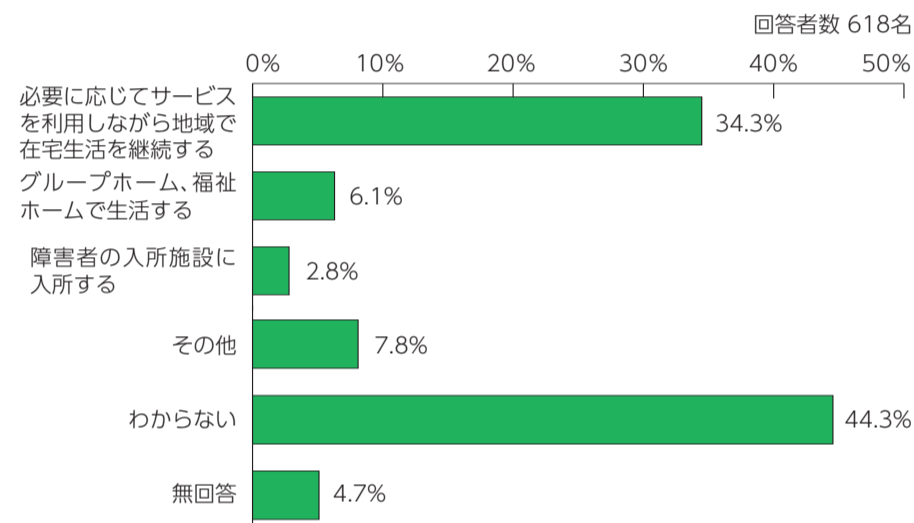
●在宅の方対象

「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が48.1%と最も多く、次いで「グループホーム、福祉ホームで生活する」が6.7%となっています。



●18歳未満の児童の保護者対象

「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が34.3%で最も多く、次いで「グループホーム、福祉ホームで生活する」が6.1%となっています。



高齢者の保健と福祉に関する調査

調査結果は保健センター、区立図書館、高齢者総合相談センターでも閲覧できます。

高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定に活用します

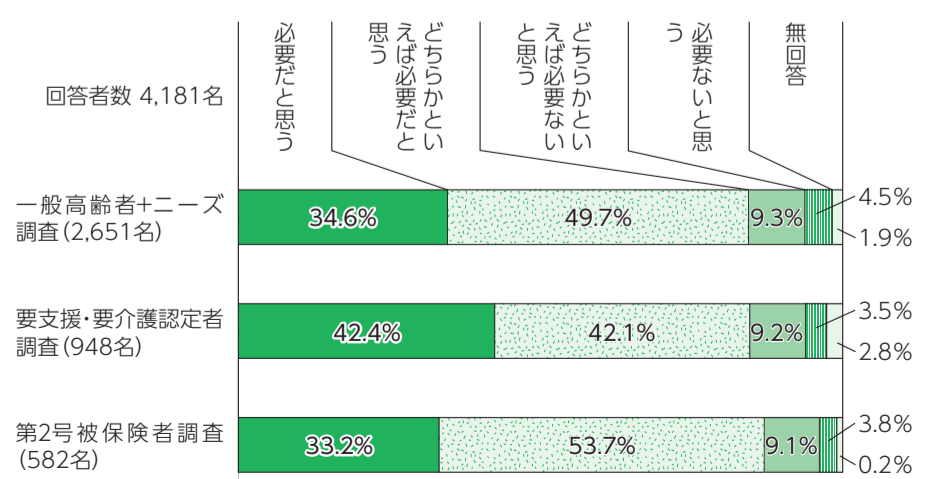
区民の皆さまの健康や日頃の生活状態、介護保険サービスの利用状況や利用意向等についてご意見を伺い、次期計画の策定や今後の施策に役立てることを目的に調査を実施しました。区では、「地域で支え合うしくみづくりの推進」を高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の重点施策の一つとしており、ここでは「地域のつながり」についての調査結果をお知らせします。

調査は令和4年10月に、無作為抽出した40歳以上の区民の方7,000名に郵送で実施し、4,181名の方から回答をいただきました(その他ケアマネジャー、介護保険サービス事業所を対象とした調査、在宅で生活する要支援・要介護認定を受けている方からの聞き取り調査を実施)。

問合せ 地域包括ケア推進課地域包括ケア推進係(本庁舎2階) ☎(5273)4193・FAX(6205)5083

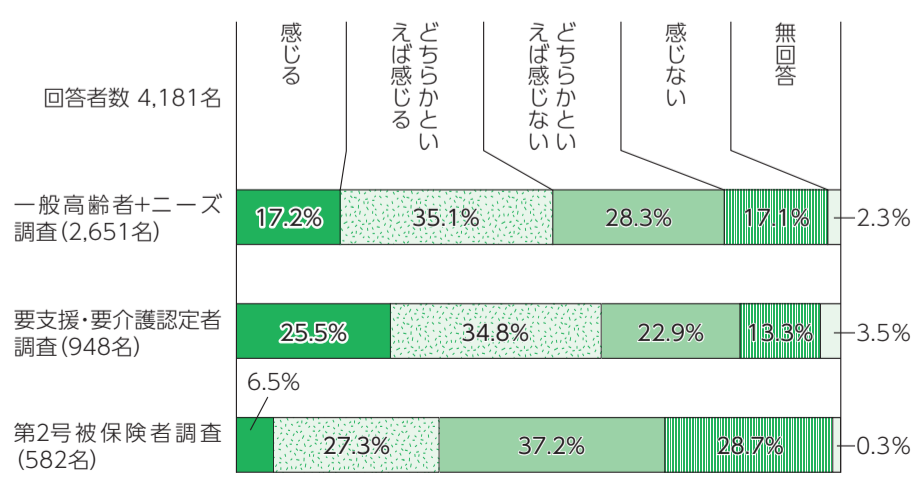
地域のつながりの必要性

地域のつながりの必要性は、「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」が8割を超えました。



地域のつながりの実感

地域のつながりの実感は、「感じる」「どちらかといえば感じる」が3～6割にとどまっています。



男女共同参画に関する意識・実態調査

調査結果は区立図書館でも閲覧できます。

第四次男女共同参画推進計画の策定に活用します

男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについてご意見を伺い、今後の施策や取り組みの基礎資料とすることを目的に調査を実施しました。区では、「固定的な性別役割分担意識の解消」を男女共同参画推進計画の個別目標の一つとしており、ここでは「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識に対する考えについての調査結果をお知らせします。

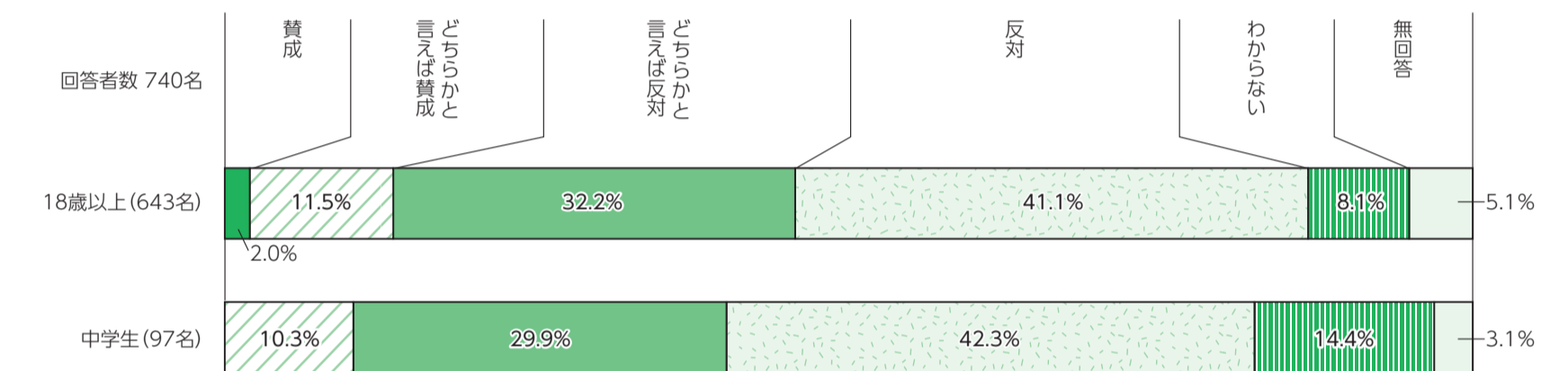
調査は令和4年8月に、無作為抽出した区民の方2,500名(18歳以上・中学生)に郵送で実施し、うち740名のほか、事業所・従業員の方から回答をいただきました。

問合せ 男女共同参画課(ウイズ新宿、荒木町16) ☎(3341)0801・FAX(3341)0740

「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識に対する考え

「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識に対する考えに、18歳以上対象の調査では、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた「反対(合計)」が7割台半ば近く、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた「賛成(合計)」が1割台半ば近くとなっています。

また、中学生対象の調査では、「反対(合計)」が7割強、「賛成(合計)」が約1割となっています。



健康づくりに関する調査

調査結果は区立図書館でも閲覧できます。

第5期健康づくり行動計画の策定に活用します

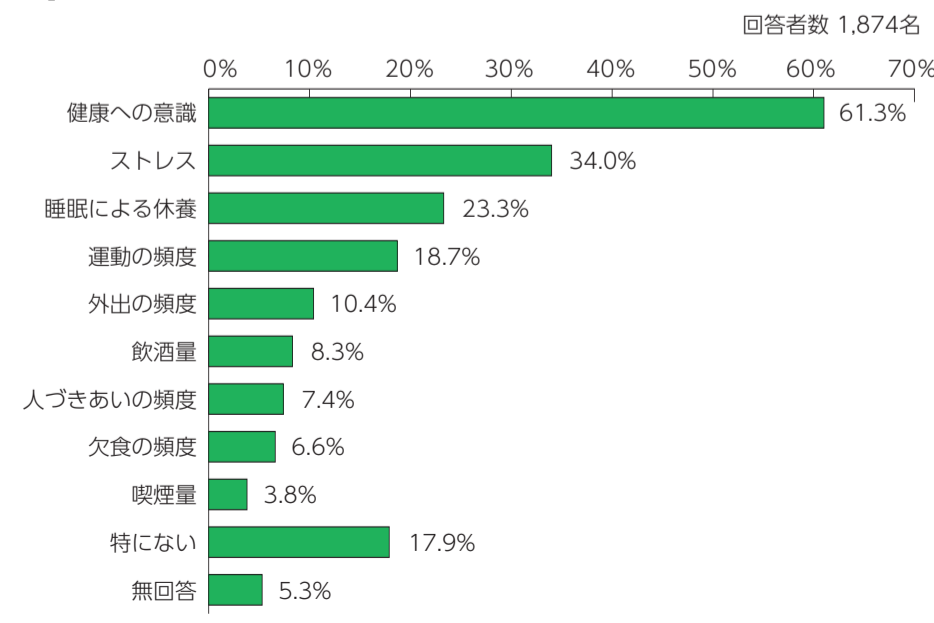
区民の皆さまの健康に関する意識や生活習慣等についてご意見を伺い、次期計画の策定や今後の施策に役立てることを目的に調査を実施しました。ここでは新型コロナウイルス感染拡大の影響と運動習慣についての調査結果をお知らせします。

調査は令和4年10月に、無作為抽出した18歳以上の区民の方5,000名に郵送で実施し、1,874名の方から回答をいただきました。

問合せ 健康政策課健康企画係(第2分庁舎分館1階) ☎(5273)3024・FAX(5273)3876

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響(複数回答)

新型コロナ拡大の影響で増えた(高まった)と感じることは、「健康への意識」で61.3%と最も高く、次いで、「ストレス」(34.0%)となっています。一方、「特にない」は17.9%となりました。



運動習慣(1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している)の有無

運動習慣の有無については、「運動習慣のある者」が28.6%で、「運動習慣のない者」が61.6%となっています。前回(平成28年度)の調査と比較すると、「運動習慣のない者」が8.7ポイント減少しています。

